Active IQ Unified Manager REST APIでの作業の開始

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/api-automation/concept_get_started_with_um_apis.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Active IQ Unified Manager REST APIでの作業の開始 . . . 1
- Active IQ Unified Manager REST APIの使用を開始する . . . 1
- Active IQ Unified Manager REST API の対象ユーザーの特定 . . . 1
- Active IQ Unified Manager APIアクセスとカテゴリの管理 . . . 1
  - REST APIに直接アクセスするためのURLを構築する . . . 1
  - オンラインAPIドキュメントページにアクセスしてください . . . 2
  - カテゴリ . . . 2
- Active IQ Unified Manager で提供される REST サービスを理解する . . . 3
- Active IQ Unified Manager の API バージョン番号について . . . 4
- Active IQ Unified Manager の ONTAP ストレージリソースモデルについて . . . 4

Active IQ Unified Manager REST APIでの作業の開始

Active IQ Unified Manager REST APIの使用を開始する

Active IQ Unified Managerには、サポート対象のストレージ システム上のストレージ リソースをRESTful Webサービス インターフェイスを介して管理することにより、あらゆるサードパーティ製品と統合するための一連のAPIが用意されています。

このドキュメントの各トピックでは、Unified Manager APIに関する情報、特定の問題を解決するためのサンプル ワークフロー、およびいくつかのサンプル コードを紹介します。この情報を使用して、NetApp Manageabilityソフトウェア ソリューションのRESTfulクライアントを作成し、NetAppシステムを管理することができます。APIは、Representational State Transfer（REST）アーキテクチャ スタイルに基づいています。Create、Read、Update、Delete（CRUDとも呼ばれる）の4つすべてのREST処理がサポートされています。

Active IQ Unified Manager REST API の利点に関する追加リソースと詳細については、"Active IQ Unified Manager"を参照してください。

Active IQ Unified Manager REST API の対象ユーザーの特定

このドキュメントは、REST APIを使用してActive IQ Unified Managerソフトウェアと連携するアプリケーションを作成する開発者を対象としています。

ストレージ管理者とストレージ設計者は、Unified Manager REST APIを使用してNetAppストレージ システムを管理および監視するためのクライアント アプリケーションを構築する方法について、この情報を参照して基本的な知識を得ることができます。

ストレージ プロバイダ、ONTAPクラスタ、および管理APIを使用してストレージを管理する場合は、この情報を参照してください。

> オペレーター、ストレージ管理者、またはアプリケーション管理者のいずれかの役割を持っている必要があります。REST APIを実行する Unified Manager サーバーの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を把握している必要があります。

Active IQ Unified Manager APIアクセスとカテゴリの管理

Active IQ Unified Manager APIを使用すると、環境内のストレージオブジェクトを管理およびプロビジョニングできます。これらの機能の一部は、Unified Manager の Web UIからも実行できます。

REST APIに直接アクセスするためのURLを構築する

REST APIには、Python、C#、C++、JavaScriptなどのプログラミング言語を介して直接アクセスできます。REST APIにアクセスするためのホスト名またはIPアドレスとURLを次の形式で入力してください

https://<hostname>/api

デフォルト ポートは443です。環境に応じてポートを設定できます。

オンラインAPIドキュメントページにアクセスしてください

製品に同梱されている *API Documentation* リファレンスコンテンツページにアクセスすると、APIドキュメントを表示したり、（例えば Swagger などのインターフェース上で）API呼び出しを手動で実行したりできます。このドキュメントは、メニューバー > ヘルプボタン > **API Documentation** の順にクリックすることでアクセスできます。

または、以下の形式でホスト名またはIPアドレスとURLを入力して、REST APIページにアクセスします。

https://<hostname>/docs/api/

カテゴリ

API呼び出しは、分野（カテゴリ）に基づいて機能別に分類されています。特定のAPIを検索するには、該当するAPIカテゴリをクリックします。

Unified Managerに付属するREST APIを使用すると、管理、監視、およびプロビジョニング機能を実行できます。APIは以下のカテゴリに分類されます。

- データセンター

  このカテゴリには、Work Flow AutomationやAnsibleなどのツールを使用したデータセンター ストレージの管理と分析に役立つAPIが含まれています。このカテゴリのREST APIは、データセンター内のクラスタ、ノード、アグリゲート、ボリューム、LUN、ファイル共有、ネームスペースなどの要素に関する情報を提供します。

- **management-server**

  *management-server*カテゴリのAPIには、 `jobs`, `system`,`および `events` APIが含まれます。ジョブとは、Unified Manager上のストレージオブジェクトまたはワークロードの管理に関連して、非同期実行がスケジュールされた操作のことです。 `events` APIはデータセンター内のイベントを返し、 `system` APIはUnified Managerインスタンスの詳細を返します。

- **storage-provider**

  このカテゴリには、ファイル共有、LUN、パフォーマンス サービス レベル、およびストレージ効率化ポリシーの管理とプロビジョニングに必要なすべてのプロビジョニングAPIが含まれています。また、これらのAPIを使用してアクセス エンドポイントやActive Directoryを設定したり、ストレージ ワークロードにパフォーマンス サービス レベルとストレージ効率化ポリシーを割り当てたりできます。

- 管理

  このカテゴリには、管理タスクを実行するために使用するAPIが含まれています。バックアップ設定を管理したり、信頼ストアにあるUnified Managerデータソースの証明書を確認したり、ONTAPクラスタをUnified Managerのデータソースとして管理したりできます。

- ゲートウェイ

  Unified ManagerでgatewayカテゴリのAPIを使用してONTAP REST APIを呼び出し、データセンター内のストレージ オブジェクトを管理できます。

- セキュリティ

  このカテゴリには、Unified Managerユーザを管理するためのAPIが含まれています。

Active IQ Unified Manager で提供される REST サービスを理解する

Active IQ Unified Manager API の使用を開始する前に、提供されている REST サービスと操作について理解しておく必要があります。

APIサーバの設定に使用されるプロビジョニングAPIと管理APIでは、読み取り（GET）処理または書き込み（POST、PATCH、DELETE）処理がサポートされます。APIでサポートされるGET、PATCH、POST、およびDELETE処理のいくつかの例を次に示します。

- GET の例： `GET /datacenter/cluster/clusters`データセンター内のクラスタの詳細を取得します。 `GET 操作によって返されるレコードの最大数は 1000 です。

  APIでは、サポートされる属性でレコードのフィルタ、ソート、並べ替えが可能です。

- POSTの例： `POST /datacenter/svm/svms`カスタムStorage Virtual Machine（SVM）を作成します。
- PATCHの例： `PATCH /datacenter/svm/svms/{key}`固有キーを使用して、SVMのプロパティを変更します。
- DELETE の例： `DELETE /storage-provider/access-endpoints/{key}` 固有キーを使用して、LUN、SVM、またはファイル共有からアクセスエンドポイントを削除します。

APIを使用して実行できるREST処理は、ユーザ ロール（オペレータ、ストレージ管理者、またはアプリケーション管理者）によって異なります。

ユーザーロール	サポートされている**REST**メソッド
演算子	データへの読み取り専用アクセス。このロールのユーザは、すべてのGET要求を実行できます。
ストレージ管理者	すべてのデータへの読み取りアクセス。このロールのユーザは、すべてのGET要求を実行できます。 また、管理、ストレージ サービス オブジェクト、ストレージ管理オプションなどの特定のアクティビティを実行するための書き込みアクセス（PATCH、POST、およびDELETE要求を実行するため）が可能です。
アプリケーション管理者	すべてのデータへの読み取りおよび書き込みアクセス。このロールのユーザは、すべての機能に対するGET、PATCH、POST、およびDELETE要求を実行できます。

すべてのREST操作の詳細については、_オンラインAPIドキュメント_を参照してください。

Active IQ Unified Manager の API バージョン番号について

Active IQ Unified ManagerのREST API URIは、バージョン番号を指定します。例えば、`/v2/datacenter/svm/svms.`バージョン番号 `v2（`/v2/datacenter/svm/svms`内）は、特定のリリースで使用されるAPIバージョンを示します。バージョン番号は、クライアントが処理できる応答を返すことで、APIの変更がクライアントソフトウェアに与える影響を最小限に抑えます。

このバージョン番号の数値部分は、リリースごとに増加します。バージョン番号を含むURIは、将来のリリースにおける下位互換性を維持する一貫性のあるインターフェースを提供します。また、バージョン指定のない同じAPIもあります。たとえば、 `/datacenter/svm/svms,`はバージョン指定のない基本APIを示します。基本APIは常に最新バージョンのAPIです。

Swaggerインターフェイスの右上の領域で、使用するAPIのバージョンを選択できます。デフォルトでは、最新バージョンが選択されています。特定のAPIについて、Unified Managerインスタンスで使用可能な（最も大きな数字の）最新バージョンを使用することを推奨します。

すべてのリクエストにおいて、使用したいAPIバージョンを明示的に指定する必要があります。バージョン番号が指定されている場合、サービスは、アプリケーションが処理するように設計されていない応答要素を返しません。RESTリクエストでは、バージョンパラメータを含める必要があります。APIの初期バージョンは、数回のリリースを経て最終的に非推奨となります。今回のリリースでは、 `v1`バージョンのAPIは非推奨です。

Active IQ Unified Manager の ONTAP ストレージリソースモデルについて

ONTAPのストレージリソースは、大きく分けて_物理ストレージリソース_と_論理ストレージリソース_に分類できます。Active IQ Unified Managerで提供されるAPIを使用してONTAPシステムを効果的に管理するには、ストレージリソースモデルと、さまざまなストレージリソース間の関係を理解する必要があります。

- 物理的なストレージリソース

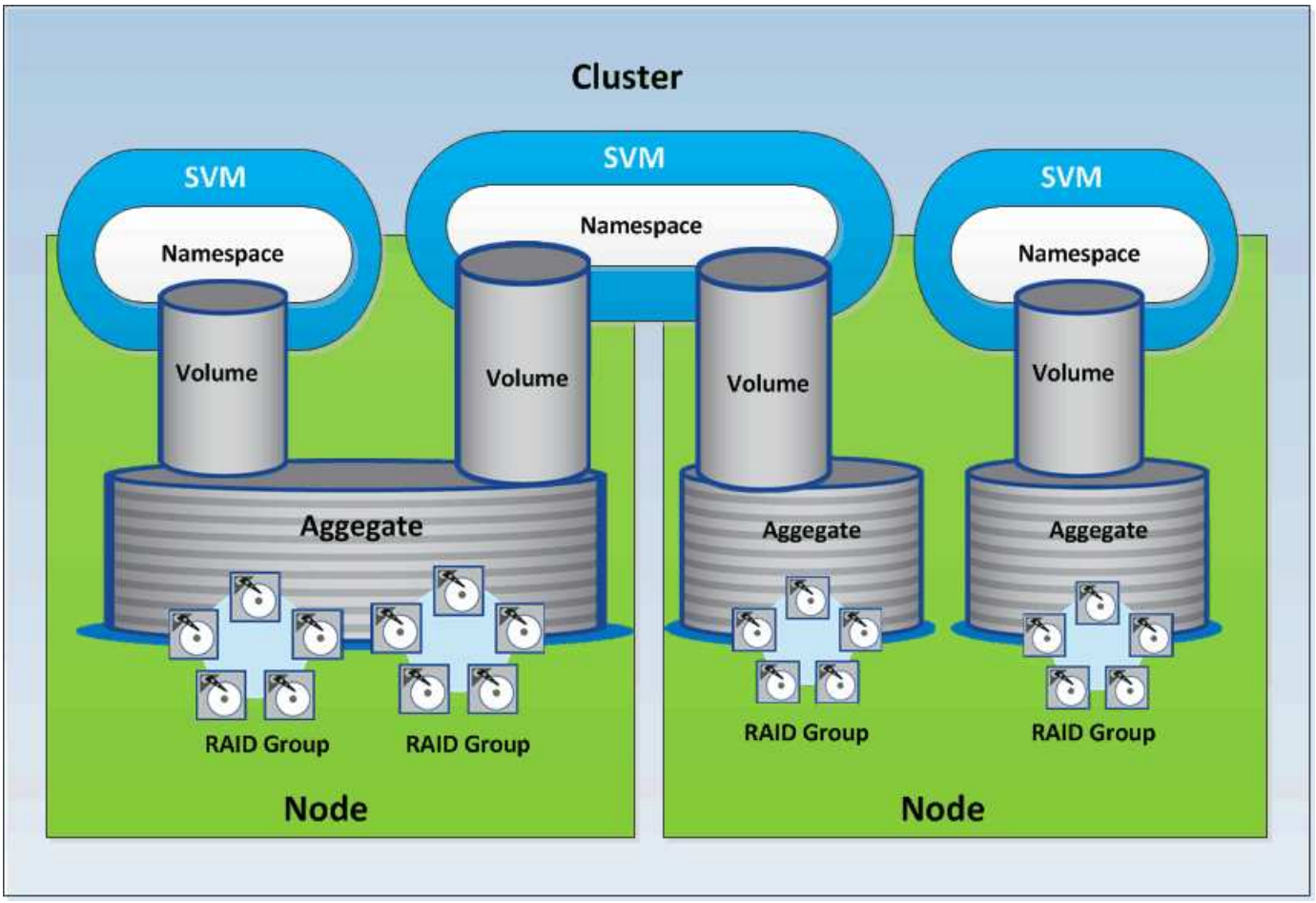
  ONTAPが提供する物理ストレージ オブジェクトのことです。物理ストレージ リソースには、ディスク、クラスタ、ストレージ コントローラ、ノード、およびアグリゲートがあります。

- 論理ストレージリソース

  物理リソースに関連付けられていない、ONTAPが提供するストレージ リソースのことです。これらのリソースはStorage Virtual Machine（SVM、旧Vserver）に関連付けられていて、ディスク、アレイLUN、アグリゲートなどの特定の物理ストレージ リソースには紐づけられていません。

  論理ストレージ リソースには、すべてのタイプのボリュームとqtreeだけでなく、Snapshotコピー、重複排除、圧縮、クォータなど、これらのリソースで使用できる機能および設定も含まれます。

次の図は、2ノード クラスタのストレージ リソースを示しています。


Cluster
SVM
Namespace
Volume
SVM
Namespace
Volume
SVM
Namespace
Volume
Volume
Aggregate
Aggregate
Aggregate
RAID Group
RAID Group
RAID Group
RAID Group
Node
Node

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。